

プログラム①

すきなもののなかに？

ねらい

- 自分の好きなものや好きな理由について考えることから、人にはさまざまな感じ方があるということを知る。
- 他者の考えに興味を持ち、さまざまな考え方を知ることの楽しさを感じる。

実施時間	60分	対象学年	小学校1年生～4年生	実施人数	15人
------	-----	------	------------	------	-----

時間	進行・ポイント等	トークシナリオ(例)
導入 21分	1.講師あいさつを行う。	
	1) プログラム開始のあいさつや担当講師の自己紹介を行う。 (2分) ①担当講師の自己紹介や、プログラムの概要の提示などを行い、参加者が緊張せずに楽しんで取り組めるよう働きかける。	円になって座ってください。 皆さんこんにちは。私の名前は〇〇です。 普段は●●●●をしています。今日はこのプログラムの講師を担当します。よろしくお願いします。 今日のプログラムはいつもの授業のように教科書は使わずに、ここにいる全員でワークをしたり、グループに分かれてワークをしたりしながら、皆さんが自由に考えたことや感じたことを伝え合ってほしいと思います。
	2.自分の感じたことを他者と共有し、参加意欲を引き出す。	
	1) 写真カードを提示して、参加者それぞれに好きなものを選ばせる。 (19分) 準備物 ・教科カード ・料理カード ワーク ①円の中心に10種類の教科カードを4セット 並べる。	「こんなことを言わなくてはいけない」という正解はありません。自分の考えたことや感じたことを自由に伝え合ってくださいね。 今から円の中にこのカードを並べます。 カードには何と書いてありますか？ (カードの文字を参加者に見せる) そうですね。〇〇〇とかいてあります。 (カードを円の中心に並べる) ではこれは何と書いてありますか？ はい。●●●と書いてあります。 このカードには学校で勉強する教科が1枚に1つずつ書かれています。 ここに教科を書いたカード10枚を4セット準備しています。 皆さんにはこの中から自分が好きな教科が書かれたカードを1人1枚選んでもらいます。 (全てのカードを並べる) 円の中心に教科カードを表向きに並べる それでは好きな教科を1つ決めてカードを選んでください。 自分の好きな教科のカードが見つからない人は私(講師)に声をかけてください。 (参加者が希望するカードの枚数が足りない場合は、カードを取らなくてもよいことを伝える) 好きな教科を選ばせる (希望するカードが足りなかった場合は、選びたかったカードを持っている参加者とペア、またはグループにならせる。) 皆さん自分が選んだカードをほかの人に見えるように表に向けてください。
	②それぞれに好きなものを一斉に選ばせる。	
	③それぞれの選んだカードを開示させる。	

時間	進行・ポイント等	トークシナリオ(例)
導入 21分 続き	<p>④参加者が選んだカードに対して講師がコメントをしたり、質問を投げかけたりする。 ※質問をする際になぜそのカードや写真を選んだのか理由を質問したり、同じ写真を選んでいても理由が異なることを確認したりする。</p> <p>⑤円の中心に10種類の料理カードを4セットを並べ、好きな料理を一斉に選ばせる。</p>	<p>コメント・質問例： ●●●が多いみたいですね。 ●●●が好きな理由はなんですか？ ほかに●●●が好きな人、どうしてですか？ ▲▲▲を選んだ人、今どんなことを勉強しているのですか？ □□□を選んだ人は、どんなことをするのが好きなのですか？</p> <p>では…… (料理カードを裏向けて見せながら) ここに別のカードがあります。</p> <p>今から並べていきますね。</p> <p>円の中心に料理カードを表向きに並べる</p> <p>何の写真ですか？ (参加者の反応を待つ) おいしそうな料理がたくさん並んでいますね。</p> <p>皆さんはどの料理が好きですか？</p> <p>好きな料理が書いてあるカードを先ほどと同じように1枚選んでください。今これ食べたい!!っていう料理を選んででもかまいませんよ。 この中に好きな料理はない!!っていう人は、この中から一番おいしそうだと思うものを選びましょう。</p> <p>好きな料理を選ばせる</p> <p>選べましたか？ 選びたいカードがなくなっちゃったよ、っていう人はいませんか？ ＜ワンポイントアドバイス②参考＞ 私（講師）は○○を食べてみたいです。 なぜなら……だからです。</p> <p>私と同じ料理を選んだ人はどのくらいいましたか？ (講師と同じカードを選んだ参加者に挙手を促す)</p> <p>なぜこの料理を選びましたか？ (講師と同じカードを選んだ参加者を何人か指名して理由を聞く) 「……だからです」というように教えてください。</p> <p>私と同じ料理を選んでも、理由は違うんですね。 ほかの料理を選んだ人にも、選んだ料理と理由を聞いてみましょう。</p> <p>発表してくれる人？(挙手を促す)</p> <p>発表へのコメント例) ～だから食べてみたいんですね。 そのように言われると私もこれが食べたくなくなってきました。 ほかに●●を選んだ人、理由はなんですか？</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>皆さんそれぞれに好きなものがあって、好きな理由もいろいろでしたね。</p>
	<p>⑥講師がコメントをしたり、質問を投げかけたりする。 ※講師がはじめに自分の選んだ料理とその理由を示して、参加者に発言の手本を見せる。 「なぜなら」「……だから」をメリハリをつけて理由の述べ方を参加者にわかりやすく伝える。 ※発表者の選んだ料理が偏らないように 「△△を選んだ人はいませんか？」 「▲▲はどうですか？食べてみたい人？」 など選んだ料理がまんべんなくなるように理由を聞く。</p> <p>⑦好きなものや嫌いなものについて、理由を考えることへの取り組みを促す。 ※理由まで言うのが難しそうな低学年の参加者には、理由まで言えるように、講師が「なぜですか？」や「～だからですね」などの手助けをする。</p>	

時間	進行・ポイント等	トークシナリオ(例)
展開 37分	3.さまざまな人の興味・関心のあることや、感じ方に触れる。	
	1) 自分の考えと人の考えの違いに気づかせる。 (32分)	<p>それでは今からグループに分かれます。</p> <p>グループ分けをする</p> <p>自分のグループがわからない人はいますか？ では、グループで円になりリーダーを1人決めてください。 (決めている間に講師はきせつのしゃしんシートとワークシートを各グループに配付する)</p> <p>きせつのしゃしんシートとワークシートを配付する</p> <p>今、グループにはきせつのしゃしんシートを配りました。 そのシートを円の中心に置いてください。 リーダーはメンバーにワークシートを配ってください。</p> <p>並べられましたか？ 春、夏、秋、冬、それぞれの季節が4つ並んでいます。</p> <p>それでは皆さん、今から自分の好きな季節の景色を選んで、 選んだ季節をワークシートの「テーマ1きせつ」の枠の中の 「えらんだきせつ」に書き込んでください。 今は選ぶだけです。 「すきなりゆう」には何も書きません。</p> <p>好きな季節を1枚選ばせワークシートに記入させる</p> <p>選びましたか？ 春を選んだ人？ 夏を選んだ人？ 秋が好きだよっていう人？ 冬がいいな、って思った人？ (挙手をさせる)</p> <p>では、なぜその季節を選んだのか、理由もワークシートの 「すきなりゆう」に書いてみましょう。時間は3分です。</p> <p>ワークシートに記入させる</p> <p>はい、3分経ちました。 それではグループで、それぞれ選んだ季節とその理由を 伝え合ってください。まずはリーダーに伝えてもらいます。 「わたしは、〇〇を選びました。理由は～だからです。」 というように、選んだ季節とその理由を、ほかの人にしっかりと 伝えることができるように、発表しましょう。 発表が終わったら、聞いている人は、拍手をしてくださいね。</p> <p>リーダーに発表をさせる</p> <p>リーダーの発表が終わったら、次の人、伝えてください。 リーダーの左隣の人が、次の人です。 (講師は次の人を指名する) 進行はリーダーをお願いします。リーダーは、発表を進めて ください。そして、発表が終わったら、聞いている人は必ず 拍手をしましょう。</p> <p>グループ内で発表をさせる</p> <p>グループでの発表は終わりましたか？</p> <p>さまざまな理由が出てきたようですね。</p> <p>では、別のシートでも同じことをやってみましょう。 今から新しいシートを各グループに配ります。 今並んでいるシートを片付けて、次のシートをグループの中心に 置いてください。</p>
	準備物	
	ワーク	
	①4～5人のグループに分かれて円を作り、 グループのリーダーを決めさせる。	
	②リーダーに円の中心にきせつのしゃしんシートを 配置させる。	
	③講師の合図でメンバーがそれぞれ自分の好きな 写真を1枚選び、各自、ワークシートに 選んだ季節とその写真を選んだ理由を書かせる。 (3分)	
	※言葉が思い浮かばない参加者には、 「写真にはどんなものが写っているかな？」 「写真を見てどんな気持ちになるかな？」 などと声をかける。	
	④グループごとにリーダーの進行で1人ずつ 発表させる。 (5分)	
	※グループでの発表がスムーズに進行しているか に気を配りながら、各グループを見る。 スムーズに進行していれば、進行役を リーダーでないメンバーがしていても 特に問題はない。 ※低学年の発表ができていないかを確認する。 うまく発表ができない低学年に対しては、 グループの上級生がワークシートを見ながら 発表のサポートをするように促す。 発表が困難であれば、選んだ写真だけでも かまわないので、発話するように促す。	
	⑤講師は各グループにけしきのしゃしんシートを 配付する。	

時間	進行・ポイント等	トークシナリオ(例)
	<p>⑥きせつのしゃしんシートのとときと同様、講師の合図でメンバーがそれぞれ自分の好きな写真を1枚選び、各自、ワークシートに選んだ景色とその写真を選んだ理由を書かせ、グループ内で書いた内容を共有させる。(3分)</p> <p>⑦選んだ景色ごとに参加者をその場で起立させ、その景色を選んだ理由を順番に発表させる。(15分) ※参加者が多いようならば、何人かを選び、15分以内を目安に発表できる人数にとどめましょう。</p> <p>2) ワークを通して気づいたことや感じたことを共有させる。(5分) ※残り時間や参加者の人数により、全員の感想の共有が難しい場合には、代表児童の発表のみでもかまわない。</p>	<p>先ほどと同じように、自分の好きな景色を1枚選んで、今度はワークシートの「テーマ2けしき」の枠の中の「えらんだけしき」に何を選んだかを書いてください。理由はまだですよ。</p> <p>好きな景色を1枚選ばせワークシートに記入させる</p> <p>書けたら、その景色を選んだ理由も、ワークシートの「すきなりゆう」に書いてください。</p> <p>ワークシートに記入させる</p> <p>それではグループで、それぞれ選んだ景色とその理由を発表してください。</p> <p>グループ内で発表をさせる</p> <p>どの景色を選んだ人が、どんな理由で選んだのかほかのグループの人の理由も聞いてみましょう。</p> <p>海を選んだ人？ ワークシートを持ってその場に立ってください。</p> <p>海を選んだ参加者全員を起立させ、発表させる</p> <p>それでは順番に選んだ理由を教えてください。</p> <p>(全員の発表が終わったら) ありがとうございます。 座ってください。</p> <p>では、空を選んだ人はどれだけいるのでしょうか。 ワークシートを持ってその場に立ってください。</p> <p>空を選んだ参加者全員を起立させ、発表させる</p> <p>では、選んだ理由を順番に教えてください。 ※森と山を選んだ参加者も起立させ、同じように発表を促す。</p> <p>(全員の発表が終わったら) ありがとうございます。 座ってください。</p> <p>今それぞれ自分の好きな季節や景色を選んで、なぜその季節や景色を選んだのかという理由を発表してもらいました。</p> <p>自分が発表したことや、ほかの人の発表を聞いたことをふりかえって、なにか感じたことや気づいたことはありますか？ 感じたことや気づいたこと、今日の感想などを、グループで報告し合いましょう。</p> <p>全員で活動での気づきや感想を共有させる</p> <p>では、今グループで報告したことを、みんなの前で発表できるよ、っていう人はいますか？ (5人程度に発表させる)</p> <p>では、その場に立って、発表してください。</p> <p>ありがとう。皆さん拍手～。</p>

時間	進行・ポイント等	トークシナリオ(例)
まとめ 2分	4.好きな物や嫌いなものの感じ方は人によってさまざまであることを伝える。	
	<p>1) 自分と他者の考えや感じ方には違いがあるということを伝える。</p> <p>2) 他者の考え方や感じ方を知ることにより、自分にはなかったり、気付かないことを知ることができるということを伝える。</p>	<p>今日皆さんには、好きな教科、好きな料理、好きな季節、そして、好きな景色を選んでもらいました。なぜ好きなのかという理由も伝え合いましたね。</p> <p>ほかの人の意見を聞くことで、たくさんの発見があったと思います。自分だけで考えるよりも、広がりがあって、気づいたことも多かったのではないですか？</p> <p>皆さんがこれから、中学生、高校生になり、大人になっても、人と違うことはたくさんあります。自分だけの考えにとらわれなくて、たくさんの違いを楽しむことができればこれからの皆さんの生活もきっと、今よりもっと楽しくなると思います。</p> <p>いろいろなことに興味をもって、新しいことにどんどん目を向けてみてください。新しい発見ができるかもしれません。</p> <p>今日はこれで終わります。 ありがとうございました。</p>

活動におけるワンポイントアドバイス

1 あらかじめワークの準備をしてから始めましょう。

- ・円になったの全体ワークから始まるので、開始前に教室内の備品などを部屋の隅に移動させておき、すぐにワークが始められるように準備をしておきましょう。

2 カードが足りなくなったときを考慮しておきましょう。

- ・参加者が希望したカードが足りなくなる可能性があります。まず、選んだ教科を確認し、同じ教科を選んだ参加者を探して、カードを共有させましょう。選ぶ教科に偏りが出てしまい、カードのない参加者が多数いるようなら、教科ごとに参加者を集めてグループをつくってもよいでしょう。

3 講師が中心となってグループ分けをしましょう。

- ・スムーズにグループに分かれることができない可能性があるので、講師がメンバーを指定して、4～5人のグループをつくり、自分のグループがわからない参加者が出ないように配慮しましょう。また、グループに名前を付けておくとその後の全体共有の際に指名をしやすいです。前ワークで使った料理カードからグループの名前を付けて(ピザグループ、パンケーキグループなど)、その料理のカードを1枚グループの名札代わりに渡しておいてもよいでしょう。

4 リーダーは講師が指名してもよいでしょう。

- ・リーダーを決めることに時間がかかる可能性があります。その場合は、講師がグループの中の一歩年長の参加者にリーダーを任命してもよいでしょう。

5 参加者の意欲に合わせて必要な支援をしましょう。

- ・理由の記入が困難な参加者には、無理に記入を促すのではなく、考えを引き出すサポートをしましょう。理由は書いていても発表ができない参加者へは、無理に発表をさせないようにしましょう。
- ・理由の記入や発表が難しい場合には、ほかのメンバーの発表をしっかりと聞くことを促しましょう。